

11~2月主催イベント

ものづくりや遊び、さまざまな体験を通して、わたしのまち“茅ヶ崎”を知る体験型イベント



2020年3月29日(日)10:30~15:00

@茅ヶ崎公園体験学習センター うみかぜテラス



◀募集要項は、
「ことたん NEWS」
からもご覧いただけます

参加企画募集中！ 申込締切：12月15日(日)

～募集要項は、サポセンにて配布、HPからもご覧いただけます。その他の問合せは、サポセンまで～

カフェ 市民活動交流カフェ「カンボジアえんぴつ寄付 報告会&交流会」

今年7~8月にサポセンでも協力したカンボジア教育支援「えんぴつ寄付」活動の報告会と交流会です。市内浜竹を拠点にスタディツアー企画他、昔ばなし発掘事業、文房具の寄付活動をしている石子さんからお話を伺います。

◆日時：12月7日(土) 15:00~17:00

◆場所：ちがさきサポセン ◆ゲスト：石子 貴久さん(一般社団法人ホワイトベース代表)

◆参加費：100円(茶菓代)



募集 令和2年度実施 市民活動げんき基金補助事業「伝わる！企画書作成会」

補助金制度の説明、事業の組立方や企画書の書き方、申請の流れや審査でのアピール方法などアドバイスします。所要時間は約1時間、個別相談も承ります。

◆日時：11月28日(木)10:00~/16:00
12月11日(水)18:00~

@ちがさきサポセン



募集期間：12月2日(月)~1月16日(木)

講座 「地域の居場所づくり交流会Ⅳ」

居場所の開設と運営のノウハウを学び共有。事例発表と講演、参加者交流会も開催します。

◆日時：1月18日(土) 14:00~17:15

◆場所：ちがさきサポセン

◆事例発表：みんなの居場所(鶴が台名店街)、特定非営利活動法人ワーコレたんぼぼひろば、南湖みんなでやんべえよ会・和輪話(若林酒店)

◆講師：西川 正さん(特定非営利活動法人
ハンズオン埼玉常務理事)

◆定員：35名(申込制、先着順)※12/16~申込開始

◆参加費：500円(飲み物、資料代)

※手話、要約筆記：12/25まで、託児(6カ月~3歳、先着3名まで)：1/10までに事前申込

NPO講座

～市民活動団体のための情報発信～

確実に一歩踏み出す情報発信のコツ

第1回は、誰に何を伝えたいのかを考え、情報発信方法の種類と効果等を学び、第2回は、第1回で学んだ事の分析や改善策のアイデア等を検証します。

◆日時：第1回/1月29日(水) 18:30~20:30

第2回/2月12日(水) 18:30~20:30

◆場所：ちがさきサポセン

◆講師：市川 ヤスヒロさん(株式会社バンド
代表取締役/デザイナー)

◆定員：各回20名(申込制、先着順)※12/16~申込開始

◆参加費：各回500円(資料代)

※手話、要約筆記、託児(6カ月~3歳、先着3名)：

第1回は1/16(木)まで、第2回は1/29(水)までに事前申込

お問合せ・申込みは、サポセンまで TEL/FAX 0467-88-7546、E-mail:s-center@pluto.plala.or.jp

もっと知りたい！サポセンのこと

『市民活動応援プログラム』2019年9月～10月

報告

市民活動団体等と行政の協働に向けた意見交換会

市民活動団体から出された課題と協働による解決が期待される事業企画案について話し合いました。

開催日	テーマ	団体名	担当課
9/5(木)	未来カルテを活用した環境・経済・社会の課題検討	特定非営利活動法人 湘南ふじさわシニアネット	企画経営課
9/9(月)	「ちがさき子ども展覧会」の開催	NPO 法人赤ちゃんからの アートフレンドシップ協会	文化生涯学習課
9/10(火)	IT リテラシーのあるシニア世代の就労支援	NPO 法人セカンドワーク協会	企画経営課
9/11(水)	保護者や子ども達へ就学前の環境の提供について	ミナスタ	保育課
	歴史文化交流館資料の ICT 活用	特定非営利活動法人 湘南ふじさわシニアネット	社会教育課
	地域の大人の教育力を発見し、子ども達の未来への意欲を育てることは可能か	キーパーソン 21 湘南	香川公民館
	災害時発生時の対応について（災害時避難体験）	ソーラーハウスにしかわ	防災対策課
9/12(木)	子育て関連事業（プログラミング・英語教室）、 映画を活用したシティプロモーション （通りをテーマにした短編映画）	NPO 法人湘南スタイル	文化生涯学習課 社会教育課
	市民が地域のことを伝承するためのお手伝い	湘南えぼし座	社会教育課 うみかぜテラス
	青少年期におけるスポーツ現場（部活動）での怪我について	一般社団法人アステム湘南 スポーツソサエティ	スポーツ推進課 学校教育指導課
9/18(水)	市内有休農地を活用したコミュニティ型市民農園	NPO 法人湘南スタイル	農業水産課
9/20(金)	生育環境に大きな困難を抱える子供たちの 居場所づくり(主に放課後)	株式会社未来へ(キッズおりの木 茅ヶ崎)	子育て支援課
9/25(水)	茅ヶ崎市の公有地等のヤギによる除草事業の可能性 について	一般社団法人湘南やぎの里	下水道河川管理課 道路管理課

～探究の授業～

ボランティア塾 in 鶴嶺高校

▶日時：10/24(木)5・6時間目 ▶場所：鶴嶺高校各教室

▶参加者：1年生 400名

▶今年のテーマは、災害/福祉/平和/人権

高校生の「知りたい!」と、市民活動団体の「伝えたい!」が出会い学ぶ機会。今年度より「総合的な学習」から「探究」へと変わり、今後ますます市民活動団体の力を発揮し、高校生にとって大事な授業でありたいものです。

～第一部～

「美容と福祉～自分と向かい合うこと」と題し、その人らしく生きていくことをサポートし、各地でバリアフリーファッションショーなどのイベントを開催し活躍している廣田純也さんからお話を聞きました。

学校卒業後、東京で働く美容師としてとても忙しい日々を過ごしていましたが、自分と深く向き合う時間を大切にすることで、自分の中にある本当に興味があること、好きなことを知ることができたそうです。



▲廣田純也さん

美容も好き、障がいがある人と関わりながらみんなが笑顔になることも好き。何かを義務として行動をするのではなく、「好き」が力となり生きることにつながっていく。それが廣田さんのやり方です。高校生には自分を深く見つめ、向き合う時間をとり、それを可視化することで、本当に好きなこと、興味のあることを発見してほしいと、エールを送りました。

～第二部～

講師自身の人生の中で活動にまつわる話や取り組みでの悩みなど熱い思いを伝えるとともに、高校生が能動的に学び、且つ生き方のヒントを見つける授業として11年目を迎えました。全15団体のうち6団体が新しく参加。昨年よりテーマを広げ、多くの生徒の関心に即した授業となりました。

(生徒ふりかえりはサポセン HP に掲載予定)

▶参加した15団体名と授業のテーマ(第二部)◀

●防災スイッチオン!プロジェクト: 防災スイッチオン!～スマホ SNS で備えてサバイバル! ●「わーく」編集部(SCF): 災害避難後、高校生にお願いしたい仕事 ●チームみつばち: 得た情報から何を選んでいくか考える ●筆記通訳サークル「虹」: 要約筆記の体験を通し聴覚障がいの理解をする ●Mahina(～マヒナ～): 障がいがあっても輝ける～居場所の大切さ～ ●(特非)発達サポートネット パオパブの樹: 発達障がいを通して知る、人の多様性 ●ちがぼ(～茅ヶ崎に冒険あそび場を作ろう会): 自由に遊ぶことが、生きる力につながるって本当? ●キーパーソン 21 湘南: わたしを動かす「わくわくエンジン®」は? ●ちがさき開智舎: 「のびしろ」って何だろう。生きる心棒? ●ヒロシマを語る会-神奈川: 原爆の実相を知り、何を感じ取りますか? ●平和を考える茅ヶ崎市民の会実行委員会: 声に出して知るオリヅルストーリー ●サンチャイ・ネパールねばるば: 世界を感じよう! ネパール支援・水は命 ●市民劇団オンリーワン: デート DV を朗読で体験してみよう ●ふれジョブちがさき・さむかわ: 社会と関わり、どう生きるかについて学ぶ ●一般社団法人アステム湘南スポーツソサエティ: スポーツボランティア

NPO 講座「市民活動、はじめの一步」



日時：10/26(土)14:00~16:00
場所：ちがさきサポセン
参加者：14名
講師：野木 瑞恵さん
(厚木市学生ボランティア団体「ぼくら」書記、文教大学1年)
益永 律子さん
(認定特定非営利活動法人 NPO サポートちがさき 代表理事)

全メンバーがプレーヤー

前半は、厚木市内初の学生ボランティア団体「ぼくら」の活動についてお話いただきました。「ぼくら」は、高校生から大学生17名、顧問1名で活動中。厚木市より

受託した「里親花壇」の植栽活動や美化作業、本厚木駅前清掃活動、定例会、地域での多世代間交流事業など行っています。学生団体とは言え、ひとりひとりが責任感を持ち、団体運営に参加しています。

後半は、NPOのミッション、運営のイロハ、組織が育つスキルなどについて事例を交えながらお話いただきました。「ほうっておけない社会的問題、行政の制度やしくみでやりきれないことをNPOが解決し、実現して欲しい。」「活動を始めた時からメンバーで組織の文化を創ってほしい。」

「なんとかしたい」の思いを発信し、身近なところから行動を起こしていきましょう！



▶開催報告の詳細は Web で



茅ヶ崎で活躍中の市民活動団体を追っかけレポート！

さぼちゃんが行く！

団体の詳細はコチラ▶



湘南ウキブイ

2005年7月設立。「未来の子供達に、安全で美しい海、裸足で走り回れる砂浜を残す」というコンセプトのもと、茅ヶ崎ヘッドランド海岸周辺のビーチクリーン活動およびマイクロプラスチック(MP)などの海洋ゴミデータ収集を行っています。

《代表の熊沢博樹さんにお話を伺いました》

拾って伝えて変える未来

現在までに、計167回のビーチクリーン活動「ウキブイ大作戦」を実施しました。気づくと、こんなにも長く活動することができ、延べ4千人以上の参加者のお蔭で僕らは「人が来れば来るほど、キレイになる茅ヶ崎」と言えるようになってきました。感謝しかありません。

「ビーチクリーンは真面目じゃなくてもいい」との教えもあり、面白おかしく活動を続けています。しかし、海洋ゴミ問題は原因が多岐に渡るため、いかに多くの人の共感を得て行動を促せるかが重要とも感じています。

雰囲気作りは勿論、参加者がより良い環境で楽しめ、素敵な思い出を残してもらえるように色々なコンテンツも用意しています。

その一つでもある「3分間チャレンジ」は名物企画となっています。海岸に点在するMPを「3分間でどれくらい確保できるか」を競うゲームで、最後に採取したMPを「今日の3分プラスチック」として展示し、参加者に展示物の撮影を促しています。「沢山のプラスチックが海岸の広範囲に漂着している」という現状を、各自のSNSで拡散していただき、より多くの方々に共有してもらいながら、結果としてプラスチックゴミの減少に繋がるようにとの考えから始まった企画です。

僕らの生活や行動が、実は海へと繋がっている

近年は、「どんながあるのよ大作戦」と称した漂着ゴミ調査を行っています。収集した漂着ゴミを分析

し、海洋ゴミデータの収集・蓄積をおこない、プラゴミゼロに向けた周知活動を展開しています(調査結果は、ウキブイのホームページで閲覧可能)なお、情報は各自自治体、大学研究員、企業等とも共有しています。

“海岸に漂着するゴミの約8割が街で発生したゴミ”。街で捨てられたゴミは、排水溝などを通じて川に流れ、やがて海へとたどり着くそうです。「街でゴミを捨てる人々の意識を変えない限り、海のゴミをいくら拾っても、海はキレイにならない」ということも、長い活動の中で気づいてしまいました。



ウキブイ大作戦 Vol.165

今後の課題

15年間蓄積してきた海洋ゴミのデータを市民や多くの皆様と共有し、より多くの方々のご意見を伺いながら、僕らのコンセプト実現に向かって、一緒に漂着ゴミ対策、改善策を探っていきます。

お時間がありましたら第2日曜日、海への愛情をご持参の上、ご参加のほどよろしく申し上げます。

代表の真摯さ、感謝の心、他者の意見を取り入れ改善していく謙虚な姿勢、自己完結がボランティアの真髄との信念。これらが「始めることより、継続することのほうが難しい」というボランティア活動を15年も続けられた肝かなと思いました。そして、何よりもご自身が楽しんで活動されている姿が印象的でした。

～相談事例紹介～

何とかしたい…その思いをカタチへ

10月、「台風19号の豪雨災害の影響で甚大な浸水被害にあった福島県相馬市に実家がある友人がいる。相馬市役所で支援物資を受け入れていると知り、支援物資を届けたい。」と、文教大学国際学部の学生から相談がありました。

東北や九州に物資支援を届けた経験がある、ちがせけんプロジェクトやもったいないジャパンにも助言をいただき、進め方を一緒に考えました。

多方面より相馬市の情報を収集し、ニーズを把握した結果、まずは、物資ではなく、相馬市社会福祉協議会が募集する「泥かきボランティア」へ行くことになりました。準備のため茅ヶ崎駅南口で募金活動(10/22)を行い28,450円が集まり、加えて被災地の友人宅より要請があった物(水、水タンク)を届ける為の募金活動とし、2日間(10/25～26)サポセンに募金箱を設置し、5,251円も集まりました。10/27、学生10名でレンタカーを借り現地へ行き、決壊した堤防の目の前のお宅の泥かきのお手伝いをしたそうです。

サポセン設置の募金箱



「今回のボランティアを通し、募金いただいた方々の善意を感じ、弾丸だったが心に深く残るものになった。」と、後日感想を聞かせてくれました。

「誰かの助けになりたい」「何とかしたい」と思う人たちを応援し、その思いをカタチにするお手伝いをさせていただきます。小さな一歩が大きな一歩へ繋がります。

～些細なことでもご相談受けております。お気軽にどうぞ～

市民活動を応援する
「げんき基金」へ寄付

大塚商会の通信販売事業「たのめーる」では、パッケージ破損などで戻し入れになった商品や一部商材をNPO団体や福祉施設に寄贈する社会貢献プログラムがあります。今年度、認定NPO法人イーパークの仲介で寄贈を受け、文房具やトイレットペーパーなど一部商品を窓口にて格安で販売しました。



そのときの売上と、サポセンの花壇で採れたラベンダー花束や夏場の緑の日よけで植えたゴーヤへの募金、市民まつり(11/3開催)の売上を寄付させていただきました。

▶ 寄付額 25,624 円 ◀

ご協力ありがとうございました



広報ちがさき(毎月15日号)

「市民の活動だより」掲載団体紹介

- ▶ 11/15号：茅ヶ崎ウィンドシンフォニー
- ▶ 12/15号：Chigasaki Wave Club
- ▶ 1/15号：メイジャ・マクレ茅ヶ崎



FM83.1 レディオ湘南

茅ヶ崎市広報番組「はまかぜちがさき」

毎月第4木曜日 8:15～8:20(5分間)、市民活動のイベントなどが紹介されます。ぜひ視聴ください。

11月							12月							2020年1月								
サ	月	火	水	木	金	土	サ	月	火	水	木	金	土	日	サ	月	火	水	木	金	土	日
ポ					1	2	ポ						1	2	ポ			①	②	③	4	5
セ	4	5	6	7	8	9	セ	2	3	4	5	6	7	8	セ	6	7	8	9	10	11	12
ン	11	12	13	14	15	16	ン	9	10	11	12	13	14	15	ン	13	14	15	16	17	18	19
カ	18	19	20	21	22	23	カ	16	17	18	19	20	21	22	カ	20	21	22	23	24	25	26
レ	25	26	27	28	29	30	レ	23	24	25	26	27	28	29	レ	27	28	29	30	31		
ン	○休館日：11/20						ン	○休館日：12/18、12/27 午後～12/31						ン	○休館日：1/1～1/3、1/15							
ダ	□館内利用制限日：フリースペース(大)						ダ	□館内利用制限日：フリースペース(大)						ダ	□館内利用制限日：フリースペース(大)							
ル	・11/12(火)健康づくり講座(午前)						ル	・12/7(土)市民活動交流カフェ(午後)						ル	・1/18(土)居場所づくり交流会IV(午後)							
ル	・11/15(金/夜間) & 16(土/午前)キックオフ交流会						ル	※12/27(金)13時より休館						ル	・1/25(土)まつり場所プログラム会議							
ル	・11/23(土)独立型 My 発電所 WS(午後)														ル	・1/29(水)NPO 講座(夜間)						
ル	・11/29(金)NPO 講座(夜間)																					

※主催イベント開催のため上記以外でもフリースペースのご利用を制限させて頂く場合があります。ご理解ご協力の程お願いいたします。

ちがさき市民活動サポートセンター

- ▶ 開館時間 9:30～21:30
- ▶ 休館日 毎月第3水曜日、年末年始(12/28～1/3)
- ▶ アクセス JR茅ヶ崎駅北口より徒歩10分程度・駐車場14台・障がい者用駐車場1台・駐輪場あり
- ▶ 連絡先 〒253-0041 神奈川県茅ヶ崎市茅ヶ崎3-2-7 TEL/FAX: 0467-88-7546
ちがさきサポセン 検索 E-mail: s-center@pluto.plala.or.jp
- ▶ 指定管理者 認定特定非営利活動法人 NPO サポートちがさき(指定管理期間：2017年4月1日～2021年3月31日)

サポセンキャラクター
「さぼちゃん」

